

地 域 に お け る 青 少 年 健 全 育 成 推 進 会 議

令和 6 年 6 月 17 日（月）

オンライン開催

○地域活動推進担当課長

大変お待たせいたしました。ただいまから令和6年度「地域における青少年健全育成推進会議」を開会いたします。本日はご多用のところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会を務めます東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部地域活動推進担当課長の喜多山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたり、地域における青少年健全育成推進会議会長の東京都生活文化スポーツ局生活安全担当局長の竹迫宜哉より、ご挨拶いたします。

○生活安全担当局長

本会議の会長を務めます、東京都生活文化スポーツ局生活安全担当局長の竹迫でございます。開会に当たりまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、平素より、それぞれのお立場で地域における青少年の健全育成にご尽力いただいておりますことに、敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

東京都では、子供の規範意識やコミュニケーション力を育む取組や、地域の中で、障害者、高齢者の方々などとの交流により「他者を思いやる」、外国人との交流を通して「多文化への理解を深める」など、青少年のダイバーシティの意識を育む取組を推進しているところで

す。

この取組を効果的に進めるには、本日ご参加いただいている各地域の青少年関係団体の皆様、区市町村や学校関係の皆様のお力が重要であると考えております。

先ほど、この会議の親会である「東京子供応援協議会」において、合同会社 J-doc company 代表社員の影山貴大さんに「若者や働き世代が参加したくなる地域活動の仕組を学ぶ」というテーマでご講演いただいたところです。

コミュニティマネジメントの重要性や、活動の担い手になっていただくためのヒントなど、地域で青少年健全育成活動に携わる皆様にも有用な内容だったかと思います。今後ともこのような情報を共有しながら、皆様方とより一層連携を深めつつ、青少年の健全育成に取り組んでまいりたいと思いますので、今後とも御協力の程よろしくお願い申し上げます。

本日は、調布市様、稲城市様のご担当から、都の事業のご活用事例などもご発表いただく

予定と聞いております。委員の皆様におかれましては、この場を通じて、現場でのご苦労や工夫されている点、日頃のご活動を通じて感じていらっしゃるということについて忌憚のないご意見をいただきまして、今後の取組に活かしてまいりたいと考えております。

本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○地域活動推進担当課長

ありがとうございました。議事の前に、本日の会議の公開について申し上げます。東京都では「附属機関等設置運営要綱」に基づき、調査審議につきまして、原則として公開する旨、規定されておりますので、本日の会議は公開とさせていただきます。

また、議事録につきましても同様の扱いとなります。本会議終了後、委員の皆様は、改めてご確認いただいた後、公開する予定でございます。ご承知おき願います。

それでは、議事を進めさせていただきます。

まずは、東京都の青少年健全育成事業について、ご報告いたします。

東京都では、本会議を含め、子供達の規範意識やコミュニケーション力を育む取組をはじめ、地域で、高齢者や障害者など様々な人との交流により「他者を思いやる」、外国人との交流を通して「多文化への理解を深める」等、ダイバーシティの意識を育む取組を進めています。

画面には、私ども生活文化スポーツ局、地域活動推進担当の所管する事業等を図にお示しております。区市町村の青少年行政主管課や青少年健全育成地区委員会、学校等と連携しながら、地域における青少年健全育成活動の支援を展開しているところです。

本会議「地域における青少年健全育成推進会議」はこれらの取組を推進するため、都と区市町村、地域活動を行う団体との連絡調整を目的として設置されており、親会である「東京子供応援協議会」の部会となっています。

本日は、これら都の事業の中でも、地区委員会を支援する事業を中心にご紹介してまいります。

こちら地区委員会アドバイザー派遣は、地区委員会の皆様が活動していく上での様々な内容を解決するために、民間のアドバイザーが考え方のヒントや事例を紹介していただき、皆様と意見交換をしながら一緒に考える講座です。

「地区委員会活動を担う新たな担い手の確保・人材育成」や「新たなイベント実施のノウハウ」、「子供の主体的な参加促進」など5つのテーマの中から、各地域の実情に応じたものを選択していただき、お悩みの解決に資する講演を行っています。

実施方法は、講義方式やワークショップ、グループ討議方式などがあり、オンラインによる実施も可能としています。画面は昨年度、稲城市様で実施した事例です。「“活動が伝わる”広報のコツ」をテーマに講義と意見交換を実施し、地区委員会の活動に役立てていただきました。このあと、今、画面でご紹介している稲城市様と、同じく昨年度、当事業を活用いただいた調布市様の青少年行政主管課から利用状況についてご報告いただく予定でございます。

なお、本事業ですが、令和6年度分もまだ若干の申込枠が残っておりまして、活用されたいという地区の方は、こちらまでお問い合わせいただければと思います。

続いて、『青少年健全育成地区委員会等推進モデル事例集』です。こちらは、地区委員会等が地域ぐるみで青少年を育成する取組を紹介し、今後の活動の参考としていただくものです。昨年度は世田谷区様、江戸川区様、八王子市様の取組を指定しています。今年度も、地域で協力の輪を広げた取組を中心に審査を行い、事例集の作成を進めています。昨年度の事例集はホームページからダウンロードできますので、是非ご覧ください。

指定された推薦モデルは、事例集に掲載するとともに、青少年健全育成地区委員会連絡会研修会において、事例発表を行っております。昨年度の事例発表の様子も東京都の公式動画サイト「東京動画」に掲載しております。

続いて青少年育成ハンドブックについてご紹介いたします。

東京都では青少年の健全育成に携わる方々への情報提供として、青少年育成ハンドブックを作成しております。作成にあたりましては区市町村の皆様にご協力をいただいております。このハンドブックの内容ですが、青少年の現状に関する統計情報や相談機関関連施設等の連絡先がまとめられております。地区委員の皆様には活動にあたって何かを知りたい、調べたいと思った時の手引きのような形でご活用いただけるかと思います。こちらは東京都公式ホームページでダウンロードいただくことができます。

東京都では引き続き地域で青少年健全育成に携わる皆様と一緒に取組を進めてまいりた

いと思いますので、よろしくお願い致します。

続きまして、市区町村の青少年健全育成活動についてご報告をいただきたいと思います。本日、調布市様と稲城市様にご報告いただく予定ですが、稲城市様の方からご用意ができていたということでしたので、稲城市様からご報告いただこうかと思います。よろしくお願い致します。

○稲城市子ども福祉部児童青少年課少年係係長

稲城市役所子供福祉部児童青少年課少年係で係長をしております武内と申します。本日はよろしくお願い致します。

今回、稲城市青少年育成地区委員会合同研修会について、報告いたします。

まず、簡単に稲城市の青少年育成地区委員会を紹介させていただきますと、稲城市は10の地区がございます。また、稲城市には健全育成施設として、稲城ふれあいの森というキャンプとキャンプファイヤーができる施設がございます。そのような施設を生かして、各地区委員の方々は地区キャンプということで活動をしていただいております。では、今回、合同研修会という年に一度行っておりますものについて、紹介いたします。

まず、稲城市青少年育成地区委員会合同研修会の内容でございます。こちらは、第一部と第二部の二部構成で行っております。第一部については、顕彰式典というものを行っております。何かと言いますと、稲城市の青少年育成地区委員として、概ね連続して3期6年以上にわたり活動し、その功労が顕著であるものを、各地区の方から推薦をいただいて、こちらを審議に諮らせていただいて大体毎年5、6名の方を表彰させていただいております。

そして、この合同研修会の当日に稲城市長から感謝状と記念品の授与を行っております。その後、第二部としてこちら東京都の地区委員会アドバイザーを使わせていただきまして講演会を行っております。

今回は、令和4年度と令和5年度の実績の報告をさせていただきたいと思います。令和4年度で、テーマをコロナ禍での活動の再スタートのヒントというテーマで、合同会社橘代表の橘先生を講師とし、派遣をしていただきまして講演会をしていただきました。内容といたしましては、コロナ禍での活動の事例、コロナ禍での活動の再スタートのヒント、新しい日常を踏まえた地区活動の再開に向けてという内容で講演をいただいております。こちら 11

月にやっているのですが、夏に各地区のイベントがかなり多く詰まっておりますので、秋頃 11 月末に行わせていただいて、皆さんの意見を集約しているということで、11 月に設けています。

次に、令和 5 年度の合同研修会の内容になります。東京都の、地区委員会アドバイザーの中で、A から F までの項目があると思いますが、稲城市もこの項目の中で、毎年どのテーマに絞ろうかということで、委員長会を開催しておりまして、去年度については委員の広報活動地域への情報発信をテーマに講演会を依頼していただくということで、講師の派遣をお願いしたところ、株式会社石塚計画デザイン事務所共同代表の千葉晋也先生にお越しいただきまして、22 名の地区委員の出席者の講演会を行っていただきました。テーマとしてはチラシ作りから SNS まで活動が伝わる候補のコツを学ぼうということになっております。

内容は、『広報 PR ってなんだろう？広報 PR 手段を考えよう』という項目でやらせていただきました。私も実際に講演会に参加し、先生のお話を聞きました。その上で、市役所にあるチラシスタンドを見てみると、かなりチラシやパンフレット等が煩雑な状態で置かれており、量も多くございます。講演会にて、「実際のチラシは左上しか見えない」という具体的な写真を元に見せていただきまして、どのようにチラシを見せるようにしたら、チラシを手にとってもらえるか、または目に入るかを、具体例を用いて、教えていただきました。また、各地区で作成しているチラシを、実際にプロジェクターに投影しながら先生に、添削していただき、その上で今回教えていただいたことを取り入れてチラシを作製しました。各市区委員の方は、今後のチラシ作りについてかなり勉強になったと思います。

また、チラシのターゲットにきちんと届く為には、どのように SNS を使うのか、紙媒体にするのか、きちんと使い分けること。その上で、ターゲットに向けた情報公開、チラシ作りを行うようにという、具体的なお話を聞きました。

今年も令和 6 年度 11 月に地区委員会アドバイザー派遣を依頼しております。今回は、株式会社 GEN プランニング代表取締役の奥村先生をお呼びしております。テーマは、今回は A ということで、地区委員会活動を担う新たな担い手の確保人材育成を今年度の委員長会で話し合いとさせていただきます。このテーマを選んだ理由ですが、一番目は現委員が高齢化している。このことは団体でも今言われているのですけれども、高齢化がかなり進んでいる

ので、馬力がかなり落ちてしまっているのと、やはりメンバーが新しくなっていないっていうのが理由になっています。二番目は、新規の特に子育て世代の子育てが落ち着いた 30 代、40 代の方が加入されないという意見がかなり出ております。三番目は、地区内の子供・保護者の情報が個人情報保護の関係で地区委員会に入っていないため、アプローチしにくくなっている。これはもう現代の悩みだと思います。四番目は、そもそも地区委員会の認知度が低い。これは、稲城市青少年育成地区委員会という堅苦しい名前が、かなり長いのとイメージが入っていないということがかなり話に出ております。五番目は、一度、地区委員会へ加入すると辞めにくいというイメージがある。これは四番目と連動して、皆さん、各地で悩みが出たのですけれども、やはりこの堅苦しい名前によって入ってしまうとなかなか辞めることができないので、次の人を入れないと、自分が辞められないという悪いイメージがあるということになっております。その中で今、稲城市では、通称名を作ろうかという意見も出ております。あとは、一番の高齢化とか、人数が少ない関係では、各地区のイベントに相互に、稲城は 10 地区ございますので、相互に協力をして、盛り上げていこうという意見が出ております。

こちらは、今年の 11 月に講演会を予定しておりますので、地区委員をまた募りまして、有益な情報を得られればと思っております。

それでは、簡単ではございますけれども、稲城市の健全育成地区委員会合同研修会の内容をお話しさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。

○地域活動推進担当課長

ありがとうございました。続きまして、調布市様から発表いただければと思います。お願いいたします。

○調布市児童青少年課子ども若者支援係

お世話になっております。調布市児童青少年課の高橋と申します。

では、早速説明させていただきます。調布市では、東京都の地区委員会アドバイザー派遣事業を活用しまして、市内小学校単位で組織されている調布市健全育成推進地区委員会のスタッフを対象とした研修会を毎年開催しております。

まず、調布市健全育成推進地区委員会について説明いたします。

健全育成推進地区委員会は市内にある 20 の小学校ごとに存在しており、地域の特性を生かした健全育成に資する事業を実施する任意団体となっております。学校の先生や PTA、子どもがいるスタッフ、自治会関係者や地域の青少年の健全育成に熱意のある方などで組織されています。

各地区委員会での主な活動内容について説明いたします。青少年の健全育成に資する様々な事業を展開しており、例えばマラソン大会やキャンプ、どれだけ長い時間飛ばせるかを競う紙飛行機大会や、小学校の校庭を利用して大きな鯉のぼりをかける鯉のぼり祭り。また、生け花の講師による子ども生け花教室や、市内に農地を所有する方に協力をいただき実施する芋掘り大会、凧あげやコマ回しなどの昔ながらの正月遊びの実施など、地区ごとにさまざまな事業を実施しております。

他にも夏祭りや地域運動会などの地域行事を実施しておりますが、それ以外にも調布市との共同開催となりますが、50 年以上の歴史を持つ地区親善ソフトボール大会を開催するなど、非常に積極的な活動を実施しております。

なお、調布市では各地区の活動を支援するため、交付金の交付、各地区の会長で組織された調布市健全育成推進地区代表者連絡協議会での意見交換、各地区のスタッフを対象とした研修会などの取組を実施しております。今回説明するのは、この研修会についてとなります。

健全育成推進地区委員会における現状と課題について説明いたします。

各地区委員会では、コロナ禍での活動自粛期間が長期化したことに伴い、子どもたちの活動参加率の減少やスタッフの減少による様々な活動のノウハウの消失といった問題が生じておりました。

また、若い世代のスタッフがなかなか集まらず、世代交代がなされず事業がマンネリ化し、新しい企画のネタが不足するなど、スタッフの固定化に伴う組織の膠着化も生じておりました。そのため、市では子どもの活動への参加を促進することと組織の活性化が喫緊の課題であると捉え、各地区の会長で組織される健全育成推進地区代表者連絡協議会において、本件についての意見交換を行い、子どもの主体的な参加促進をテーマとする研修会を開催することに決定いたしました。

なお、研修会の開催にあたっては、講師及び地区委員会との三者協議を踏まえ、子どもが

参加したくなる企画の発想法、他地区における活動事例の紹介、参加者の心に響く PR のコツをテーマとすることに決定いたしました。

こちらのスライドは研修会当日の写真となります。研修会は 1 月 24 日水曜日の 19 時から。講師は株式会社石塚デザイン事務所の代表取締役である安富先生に依頼する形で実施いたしました。研修会の表題は、子どもが参加したくなるワクワクする企画の作り方考え方講座としまして、当日は 51 名の参加者がありました。

当日は、参加者は会場での受講、講師はオンライン参加という形式で実施いたしました。当日の内容含め、結果についてご報告させていただきます。

こちらは市独自にとりましたアンケートの結果を示したものになります。内容につきましては、参加者中 51 人中 49 人がとても良かった、または良かったこと回答しており、9 割以上の参加者が良かったと回答していることから、満足度の高い内容であったことが窺えます。

また、研修会は会場で受講し、講師がオンライン参加で説明を行うという珍しい方式での実施となりましたが、参加しやすい実施方法についての質問に対しては、オンライン形式での参加を今後も希望するといった声が 51 人中 37 人中回答されるなど、7 割の参加者がオンライン形式と回答する結果となりました。

これは、講師の方の説明が丁寧でわかりやすかったことや、オンライン会議の普及などが要因であると考えられますが、オンライン開催については忌避感がない結果となったことが窺えます。

続いて自由意見となります。こちらはその一部を抜粋したのですが、内容についてと同様、非常に好評であったことが伺える結果となりました。また、今後受けたい研修のテーマについても伺ったところ、「委員の増やし方について」が一番多く、ついで「他地区での取組事例」という結果となりました。

調布市では、健全育成推進地区委員会を対象とした研修会を毎年度実施しており、実施にあたっては各地区委員会と意見交換を行い、ニーズを把握したうえでテーマを決定しておりますが、今後も地区委員会が抱える課題解決に向けまして地区委員会アドバイザー派遣事業を活用しながら研修会を開催していきたいと考えております。説明は以上となります。ありがとうございました。

○地域活動推進担当課長

調布市様、稲城市様ありがとうございました。

ここまでの発表内容等につきまして、調布市様や稲城市様、それから我々の事業に対してご質問等の方は、挙手ボタンの方を押していただけますでしょうか？

よろしいですか？ではこの後、意見交換の方に移らせていただきたいと思います。

講義開催に先立ちまして事前アンケートの方をお配りし、二点ほど伺わせていただきました。一つ目は青少年の健全育成に関して力を入れてらっしゃる内容について、もう一つが、若者や働いている世代の方に地域活動に参加してもらうために工夫されていること、苦労されていることをお伺いしております。皆様が日頃取り組まれていることや感じることなど含めてご意見等ございましたらお願いいたします。

では、八王子市の子ども家庭部堀川委員様お願いいたします。

○八王子市子ども家庭部青少年若者課長（東京都市長会代表（八王子市子ども家庭部長代理））

八王子市子ども家庭部青少年若者課の堀川と申します。よろしくお願いします

八王子市におきましてもコロナが収束し、これまで止まっていた活動が再開される中、コロナ禍以前に参加していた方々がまだ戻ってきてはおらず、様々な地域活動の担い手不足が顕在化しております。担い手不足を解消するために行われている事例等がございましたら、ぜひご教授いただければと思います。

○地域活動推進担当課長

堀川様ありがとうございました。今日この前の子供応援協議会の方でも、担い手不足というような話がありました。今、いただきました八王子市様からのご意見ご質問に関しまして、追加のご意見ですとか、取組に関して、ぜひご意見いただければと思います。どの団体様からも担い手不足というのは聞かれる部分かと思いますが、どなたかいかがでしょうか？

そうしましたら、日本ガーディアンエンジェルスの大和田委員様お願いいたします。

○特定非営利活動法人日本ガーディアンエンジェルス理事

皆様いつもお世話になっております。こんにちは。ガーディアンエンジェルスの大和田と申します。

私どもも、やはり担い手不足で、せっかく活動の場を提供いただいてもお断りすることが

増えてまいりました。今年、私どもが実験的に試していることをご紹介させていただいて、参考にしていただければと思います。NPO というのは自治体・町会・商店街・学校・PTA の方々など、どうしても地域との繋がりが強くて、今まであまり目を向けていなかった事業者の方々にお声がけしようとなりました。大きな会社でなくても、今は CSR とか非常に熱心に活動したいというお話も聞こえてきましたので、お声をかけたところ、一気に 6 名のメンバーが入りました。その方々は同じユニフォームを着てもらって、メンバー登録をしていただき、勤務時間の中でも活動できるという契約を取り交わしました。まだ始めて間もないですが、視点を変えて事業者や、今まで声をかけてなかったところを誘ってみてはどうかと思いました。今回、参考になればと思い、発言させていただきました。以上です。

○地域活動推進担当課長

大和田様、貴重なご意見ありがとうございます。企業の CSR 活動で、地元の大きい企業ではなくても小さな企業とかも含めて活用されていらっしゃる。しかもそれがその勤務時間、向こうからしたら勤務時間内に活動ができるというところも、協定として結ばれているということも、すごく参考になるところだと思います。他にこれに関しまして、いや、これ以外のことで構わないのですけれども、こういったことを取り組んでいますとか、他の団体さん、こういうところどうされておりますかと、ご質問したいところがありましたら、ぜひお願いしたいのですが、挙手いただいてもよろしいでしょうか？稲城市様、挙手いただいておりますけれども、ご発言お願いしてよろしいですか？

○稲城市子ども福祉部児童青少年課青少年係係長

稲城市は現在担い手不足で、今年度も派遣事業で研修会を行おうと思っているのですが、地区委員の、一つの地区の中で成功事例がありまして。青少年育成地区委員会という名前で加入してしまうと、通年を通して、また長い年月を通して参加していなければいけないという負担感があるので、そのことで加入者数が少ないという悩みがあるというので、ある一地区では、例えば盆踊りで十人欲しいという時にスポットで、地区委員という名前ではなくて、協力員という名前で募集をしたところ、簡単に人材が結構、欲しい人数集まりました。青少年委員の地区の方はコアなメンバーは数人だけで、そういうイベントごとに集める。その時必要な働き手を、スポットで集めたところ、なかなか集まりが良かったです。そのイベント

はうまく人数が回せたという実績があります。あと、人材募集時に、地区委員会のメンバーじゃなくて地区委員のイベントの協力員ということで、名前を少し柔らかいものにしたら、集まりがよく、盆踊りが成功したという事例がありました。以上です。

○地域活動推進担当課長

ありがとうございます。非常に興味深いお話を伺うことができまして、今日これに先立ちまして、東京子供援応協議会にて基調講演があり、その中で影山講師から、新しい方が参加するにはどうしても負担感があり、それをどのように軽減していくかというようなお話がありました。やはり、いきなり長期間参加してもらって、その後正式なメンバーになること、また、地区の役員をお願いすることは、すごくハードルに感じる人が多い。例えば先ほど、稲城市様のお話にあったような、一日だけ夏祭りの応援をお願いしますとか、ハンズオンタイプというふうに先生はおっしゃっていましたが、プロボノ期間を区切ってやるということは、終わりがきちんと明確になっていて、非常に参加しやすいのではないかなというようにお話がありました。役割分担や、その拘束時間を事前に示すことで協力いただけるというように事例があるのではないかなというふうに感じたところです。それ以外にご意見ご質問等ある方いらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。

会に先立ちまして、事前アンケートでもご意見ご質問、いただいているのですが、今日所用でご欠席の東京都の瑞穂町様ですが、やはり担い手や活動する人手不足というのがあるそうで、近隣の自治体、青梅市様や、羽村市様と共同でイベントを実施したりすることで、単独開催よりは負担感を軽減しているということで伺っております。それ以外に、其他のご意見として、やはり我が子が絡む地域活動には若干の参加意識はあるものの、地域の子供というところまではなかなか意見が及びにくいと。親同士、子供同士だけではなく、世代を超えた取組が必要かと思うなどというご意見もいただいております。地域活動を長く続けていくためには、地域の子供たちを巻き込んだ魅力的なイベントを提供し、また SNS を使って発信していくなどとして、自分の子供のためならばと、まずは参加してくれる保護者を募っていくことも大事なのかなと思います。そのような中から持続的な地域活動が継続できるような流れを作っていけたらいいのかなと思っております。ありがとうございます。

今日は、調布市様、稲城市様、それから今いただきました委員の方からご意見等、ご紹介

させていただきましたけれども、こういったご意見も基にしまして、また我々東京都も地域の皆様と一緒に、地域における青少年健全育成の事業を進めていければと思っております。ありがとうございました。たくさんのご意見をいただきましたところで、ここで令和6年度地域における青少年健全育成推進会議は閉会とさせていただきます。

大変お手数ではございますが、今後の参考とさせていただきますので、アンケートへのご協力をよろしくお願いします。この後の画面に表示されます案内からご回答ください。

本日はお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございました。